



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本康朋

2021年7月28日

東京臨海 RC 【第1208回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第17回例会】

東京臨海RC

創 立：1994年8月8日
会 長：佐藤大輔
副 会 長：杉浦孝浩
幹 事：勝間田健一
プログラム
構成委員長：田中紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立：2020年12月18日
議 長：坂本康朋
副 議 長：小松啓祐
幹 事：勝間田健一

7月28日の卓話

「クラブ奉仕部門フォーラム」
総合担当：
クラブ奉仕委員長 杉浦孝浩様

8月4日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
当クラブ会員 原 達徳様
当クラブ会員 伊佐 康暢様

《2021年7月14日オンライン例会報告》 東京臨海 RC 第1207回 東京臨海北斗 RSC 第16回

司会：福田会員



■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
皆様こんにちは。ズームの皆様こんにちは。2回目にして早くもオンライン例会となってしまいましたが、緊急事態宣言が明けるまでオンラインという形になりますが皆様で楽しくやって行けたらと思います。よろしくお願ひいたします。それでは東京臨海ロータリークラブ第1207回例会を開始いたします。

東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長
皆さまこんにちは。ハイブリッド例会になってしまったことを大変残念です。しかしながら、このハイブリッド例会も慣れていただきながら、皆さん楽しんでいただきたいと思います。それでは東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ第16回例会を開催いたします。

- ロータリーソング斉唱「我等の生業」
：ソングリーダー：白幡 SAA 副委員長
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC Ver. 唱和
：勝間田幹事



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長
それでは本日のゲストスピーカー及びご来賓を紹介させていただきます。まず米山奨学生としてレー・クオック・アン様、そしてバギオ基金留学生カルシ・レイニヤルシヨ様、そして本日の卓話者は五大奉仕委員長の皆様となります。後ほどアン様とレイン様にはご挨拶を頂戴します。よろしくお願いいたします。

- ビジター紹介
本日は、いらっしやいません。



■ ご挨拶

・米山奨学生カウンセラー 山田晃久会員

こんにちは。なかなかこういうコロナ禍の中で皆さんとお会いすることができないんですけども、何度かご紹介させていただいておりますが、本年度そして来年再来年の4月まで我々臨海クラブが世話クラブということで、これから1年9か月ほどお世話することになりましたレー・クオック・アン様、これからご挨拶させていただきますけど、クラブを通して日本あるいは、日本社会あるいは人と人の触れ合いというものを伝えていくのが、我々の仕事になるかと思っておりますので皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。それではアンさんお願いします。

・米山奨学生 レー・クオック アン様

皆様こんにちは。私はレー・クオック・アンと申します。現在は明治大学経営学部経営学科に在籍しております。私は3年生となって現在もインターンシップを探しているところです。来日したばかりの時に少し不安と心配を感じておりました。その時を振り返るとあいうえおを喋るぐらいだったのですが、4年経ちまして流暢とまではいきませんが皆様に自分の意思が伝えることができるようになったことをうれしく思います。これからもインターンシップをして、自身が努力して、日本との懸け橋になりたいと思います。皆様よろしくお願いいたします。



・一般財団法人比国育英会バギオ基金

副会長 齊藤実会員

皆さんこんにちは。それではもう一人バギオ基金の留学生の愛称でレイン君を紹介します。彼は今年亜細亜大学を優秀な成績で卒業する予定です。今日バギオだよりがメールボックスに入っていてそこに記載されていますが、会場に来ている留学生以外にも現地で留学生としてゲレロ・ヨアネさんがオーストラリアシドニーで頑張っていたりとか、トミン・ジェイコブさんが

韓国で一生懸命頑張っていたりとかこういう卒業生も大勢いる中で、レイン君に本来であれば財団の理事会のほうでご挨拶していただくところですが、このバギオ基金でお世話になっている臨海ロータリークラブにぜひ機会があればご挨拶させていただきたいということでレイン君が見えてますので一言もらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

・バギオ基金留学生 カルシ・レイニャールシヨ様

皆さまこんにちは。本日の例会に出席させていただき誠にありがとうございます。私はバギオ基金第5期留学生で亜細亜大学国際関係学部国際関係学科4年生のレイニャールシヨ・カルシと申します。私は2015年来日し日本語学校、調理師専門学校、亜細亜大学までバギオ基金をはじめ、東京臨海ロータリークラブの皆様大変お世話になっております。このコロナパンデミックも含め色々大変でしたが数か月後には大学を卒業します。4年間の大学生活もあっという間に終わったなと思いつつ、卒業してからの道を考えました。今のところは日本に限らず3年間ぐらい就職してその3年間でお金を稼いで自分のビジネスをやりながらアメリカの大学院で経営学修士を取得したいと思っております。日本で頑張っていた6年間を振り返ると、ある先生の言葉を思い出します。「鳥は木の枝に心配せずに乗っているのは、鳥がその枝の丈夫さを信じているのではなく、鳥が自分の翼に自信があるからだ。」という言葉です。つまり自分がどこに行っても成功するために行き先の安定さに頼るのではなく、自分がどんな状況においても力強く歩めることに集中することが大事だということです。日本にいる間の経験のおかげで、言語力があり、調理師免許も持ち、そして日本の大学の卒業資格も持っている私はどこに行っても活躍できるグローバル人材になっていると感じます。その今の私は、皆さまの寛大さのおかげです。心から感謝しております。こうして皆さまに私が(代表して)感謝の言葉を表していますが私だけではなく、今沖縄で活躍している後輩たち、海外で活躍している先輩たち、またフィリピンにいる奨学生の皆も本当に感謝しています。ロータリークラブの皆様寛大さで大きく人生が変わった留学生の代表としてお礼を申し上げます。バギオ基金そして東京臨海ロータリーの皆様本当にありがとうございます。



■ 7月のお祝い：親睦委員会 井上 SAA 委員長



◆会員誕生日

臨海 RC：原達徳会員、入澤昭彦会員、白幡隆広会員、
福田義正会員、山田政弘会員、佐久間栄一会員
北斗 RSC：小川浩樹会員、須田隆志会員、吉田大作会員



◆奥様誕生日

臨海 RC：酒井教吉会員夫人、林敦寿会員夫人、
金城健二会員夫人、田中紘太会員夫人
北斗 RSC：樋口義之会員夫人



◆結婚記念日

臨海 RC：林敦寿会員、杉浦孝浩会員、虻川良太郎会員、
伊藤文史会員
北斗 RSC：大貫翔吾会員、三宅裕介会員、関口満博会員、
樋口義之会員

◆出席100%

臨海 RC：5年：杉浦孝浩会員
4年：本多信雄会員、佐久間裕章会員
1年：寺田雄司会員



◆「誕生日の歌」：ソングリーダー：井上 SAA 委員長

◆1分間スピーチ：福田会員



皆さまこんにちは。一分間スピーチありがとうございます。皆様誕生日はどんな月でしょうか。僕の中では一年に一回はじまりの月であります。産んでくれた父母に感謝していることもあるのですが、何より祖父母、さらに曾祖父母が居たからこそ、自分があるのかなと思ってます。その感謝を心に秘めてまた一年しっかりと生きようと感じます。皆様がいることに感謝しています。ありがとうございます。

■会長報告：佐藤大輔会長

- ・先週の初例会の際、東京江戸川 RC 様、東京臨海東 RC 様、東京臨海西 RC 様よりお祝い金を頂戴いたしました。
- ・国際ロータリー第 2580 地区の 2020-21 年度地区財団活動資金 (DDF) の収支報告が届きました。
- ・7月28日は、ガバナー補佐訪問日となりました。岡本ガバナー補佐と山本分区幹事をご訪問くださいますので、ハイブリッド開催ではありますが、会員皆様の出席をお願い致します。
- ・「希望の風 ロータリー希望の風奨学金 10 年のあゆみ」が届きました。
- ・東京本郷 RC 様より、30 周年記念誌が届きました。

■幹事報告：勝間田幹事

- ・緊急事態宣言が発令されましたので、8月18日までの例会とフォーラムをオンライン例会といたします。尚、7月21日(水)は、休会です。
- ・7月の理事役員会議事録を7月8日に会員皆様へメール送信いたしました。
- ・友好クラブであります名古屋城北 RC の例会場は、2021年7月より、ヒルトン名古屋に移転しました。
- ・ロータリー文庫のパスワードは、年度ごとに変更になりますので、7月より変更されてます。新しいパスワードの連絡が事務局に届いております。
- ・2021年7月のロータリーレートは、1ドル=111円です。
- ・2020-21 年度東分区 IM 報告書を会員皆様のメールボックスに配布いたしました。

■委員会報告

- ・クラブ奉仕委員会 (勝間田幹事代読)
クラブ奉仕部門フォーラムを7月28日(水)例会に続いて13:05~14:30、ハイブリッド開催致します。会員皆様の出席をお願い致します。
- ・プログラム構成委員会・会報担当 (司会者代読)
ロータリーの友7月号記事ご紹介
- ・青少年奉仕委員会 (本多委員長)
今年度のインターアクト年次大会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となりました。



■出席状況報告：高吉会員

- 東京臨海 RC
会員数：57名
出席：34名 (例会場：18名 ZOOM：16名)
欠席：23名
出席率 62.96%
- 東京臨海北斗 RSC
会員数：23名

出席：3名（例会場：0名 ZOOM：3名）
欠席：20名
出席率 13.04%

■ニコニコBOX 報告

ニコニコボックスの募金は、行いませんでした。

【0件 0円 今年度累計 160,000円】

■卓話

「五大奉仕委員長就任挨拶」



クラブ奉仕委員長 杉浦 孝浩様（勝間田幹事代読）
杉浦クラブ奉仕委員長の代わりに代読します。

「今年度クラブ奉仕委員長を仰せつかりました杉浦でございます。クラブ奉仕に励まさせていただきます。歴代のクラブ奉仕委員長が様々な施策を行ってきたことを参考にクラブの現状をしっかりと見極めてより良い運営ができるようアップデートできる提案をしたいと考えております。副会長という任務とともに元気なクラブ運営に注力してまいります。よろしくお願いいたします。」

以上です。ありがとうございます。

の大先輩が作られたり指導なされてきたことなので勉強させていただきたいと思っておりますが、今回は自事業活性化委員会鈴木孝行委員長と先輩諸氏のご指導を仰ぎながら、そして会員皆様のご協力を仰ぎながら、私が委員長として汚すことなく進められたらと思っておりますので皆さまによりしくお願いできればと思っております。一つだけこの職業奉仕委員会という言葉について私なりに考えていることは、3つの単語でできております。「職業」、「奉仕」、「委員会」ということで、「職業『で』奉仕する」、己の職業を生かして奉仕するということがまず考えられます。今回活動方針にもださせていただきますが、職を生かした参加型の奉仕活動を行うということで自分の職業やロータリアンとして、ロータリークラブとして社会奉仕していこうと、それをまずぜひとも進めて行きたいと思っております。もう一つは、助詞を変えますと「職業『に』奉仕する」といえると思っております。自らの仕事に対して活動を通じて、職業も活性化されていくという意味ではないかと、間違えていたら許してほしいのですが、私はそのようにとらえております。その中で会員同士の職業業種業態規模の理解、関心、連帯意識を深める、情報交換して行って、自分の職業に生かしていくというのがやはり、職業奉仕委員会のもうひとつの目的としてよいと思っております。そのために会員の職場への訪問視察、皆さんがどんなことをなされているかを情報交換したり、既にラインで情報交換も十分なさっていますが、そんなことが目的であってもいいかなと思っております。先日家庭集會も行かせてもらいましたが、「職業『で』奉仕する」、「職業『に』奉仕する」、そんな職業奉仕委員会にできたらいいなと思っておりますので、1年間ぜひご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。よろしくお願いいたします。



職業奉仕委員長 白井正三郎様

皆さんこんにちは。誠に僭越ではございますが、佐藤会長年度において職業奉仕委員長という大役を拝命いたしました白井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。私のロータリー歴は、2019年6月に入会しましてまだ2年1か月ぐらいということで、私が入りまして4つのテストは胸をいつも打たれるのですが、その中の「好意と友情を深めるか」という言葉が、この年になると新しい方と友達になるというのが非常に難しいもので、いつも新しい友達ができればなと思ってここに来させていただいております。今回の大役は、歴代



社会奉仕委員長 大西 洋平様

社会奉仕委員長をこの度仰せつかりました大西洋平でございます。まずはこの場をお借りしまして、先日の私の活動につきまして皆さまにご支援いただきましたことを厚く感謝申し上げます。一步届きませんでしたけどしっかり前を向いて頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。今回社会奉仕委員長として大役を仰せつかりまして、歴代の委員長の皆様がどういった活動をされているのかも含め、学ばせていただいたわけでございますけど

も、幾つかの様々な柱になる活動がある中のひとつにオレンジボールの臨海ロータリークラブの優勝旗の争奪の大会があります。これは高橋映治会員が会長のときからスタートしましてもう4.5年経っております。私が少年野球に携わっている機会も多いものですから、当時のオレンジボールは3年生以下の小さい子供たちの初めての公式戦として挑む大会なんですけども、そこで初めて優勝旗をとった当時の3年生がその勢いのままに東京都大会に出場して、その東京都大会でも優勝しました。その時のご父兄の方があの優勝旗をもらって本当に自信になって、そして東京都大会でも勢いそのままに活躍できたんです、というすごいうれしい言葉を言ってくれたのが印象的でした。あれから4年であの子たちは中学生になって野球を続けている子達も多いです。本当にこういった活動で子供たちが勇気をもって、そして今引き続き新天地でも活躍しているというケースは多々あるわけです。この1年間は、こういう振り返りの情報収集にもこういうふうに実を結んで活躍しているとかの情報収集に努めていきたいと私なりに思っています。また、らいおんは一との子ども食堂でも白井会員がいらしゃいますけども、コロナ禍の前は年2回3月9日と訪問させていただいたんですけど、この活動においても登校拒否で学校にいけない子だったけどもらいおんは一との活動を通じて今は高校で大活躍しているお子さんもいらしゃいます。これもロータリークラブとして訪問してお菓子を配ったり写真を撮ったりでうれしい表情があり、今でも写真飾ってあるんですけどもそういった子供達というのはそういった奉仕活動とか社会活動で、来てくれた大人が僕たちを真剣に考えてくれているんだということが本人にとって本当にうれしく感じてくれることも多々あるそうでございます。これは実際私たちはなかなかわからないんですけど、当事者の話を伺うと、あの社会で活躍している大人たちが私たちに興味をもって見捨てることもなく応援してくれているんだという、これが大きな励みになるということも関係者の方々からうかがうこともあります。こういった情報をまた皆様にフィードバックさせていただいて会員皆様で共有したいなと思って、今後の活動にも大いに励みにしていきたいなと思っています。今回明確に佐藤会長が実践型・参加型の奉仕活動をより密な形で踏み込んでやっていこうと明確な会長の方針もございまして、そういった会長の方針をしっかりと私も受け止めさせていただいて、頑張っていきたいと思っております。今回コロナ禍で新規事業去年も残念ながら中止になってしまったんですけども江戸川花火大会後のクリーン作戦も素晴らしい作戦で歴代の方が考えて、初めて実行する委員長としてぜひ！と思っておったのですが、ご存じのとおり花火大会が中止になってしまいましたので、こういった活動も近い将来できればと思っていますので、しっかり温めさせていただきながら、歴代の先輩方のそういった熱い思いを踏襲させていただいて、実りのある一年間にしていきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願いいたします。以上でございます。



国際奉仕委員長 柴田 剛様

皆様こんにちは。佐藤大輔会長年度において国際奉仕委員長を拝命いたしました柴田剛と申します。地区ではバギオ基金委員会も務めさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。当クラブからは日台親善委員会委員長齊藤実パスト会長、国際大会参加推進委員会委員長に酒井会員、委員に白幡会員が選出されており、地区からも非常に注目されております。そういった意味でも今年度は国際奉仕委員は地区およびクラブにおいても活動を実践し強化していかなければなりません。特に入会間もない会員の方々にも勉強会などを通じてご理解をいただきたいと思っております。

ロータリークラブにおける国際奉仕とは国際理解親善平和の推進です。国際奉仕委員会の4項目の姉妹クラブ、バギオ基金、ロータリー財団、米山奨学においても理解を深めて徹底していただければと思っております。ロータリアンは国際大会をはじめとする国際的な会合に積極的に参加し国際レベルで友情や親睦を深めることが推奨されています。これらを踏まえまして臨海ロータリークラブの大きな国際奉仕活動を二つご案内させていただきます。

まず一つ目は2022年2月10日から13日フィリピンのバギオ訪問です。二つ目は2022年6月4日から8日にアメリカヒューストンで行われます国際大会です。

私自身ロータリアンとしてのフィリピンやアメリカへの渡航は初めてとなりますが個人的に知人のついでで20代後半にフィリピンのマニラやバギオ手前のパンガシナンに行ったことがあります。パンガシナンでは村の子供達とバスケットをやったり夜は知人の親戚の人と集まりまして村の人たちと宴会をして、言葉は通じなくても明るく親しみやすい国民性で交流親睦をして非常に感動的な経験をしたという思いでございます。

バギオ訪問や姉妹クラブは、当クラブとのかかわりは非常に深く歴史があります。皆様ぜひ興味をもっていただきたいと思っております。ヒューストンはまだ行ったことがありません。宇宙センターがありNASAのイメージがあります。NBAはヒューストンロケッツ、メジャーリーグは、アストロズが有名です。国際大会でのタイトルは、Let's discovery horizon. 直訳は「新たな地平線を発見しましょう」ですが、意識をしますと「視野を拓きましょう」です。ぜひ参加を通じてご自身の視野を拓いてみませんか。開催は来年の6月です。例えばロサンゼルス経由で現在エンジェルズで活躍さ

れている大谷選手をアナハイム球場に応援しに行く等の多彩な行程も可能ではないかと思っておりますので、ぜひ皆様のご意見をいただけるようよろしくお願い申し上げます。皆様、もう一度申し上げます。2022年2月10日から13日が、フィリピンのバギオ訪問です。二つ目は2022年6月4日から8日がアメリカヒューストンで行われます国際大会です。新入会員の方や未だ一度も行かれたことがない方はご参加いただければと思います。ちなみに次期国際大会が2023年はオーストラリアのメルボルン、2024年はシンガポール、2025年はカナダのカルガリーで開催が予定されております。海外ですので皆さま言語の心配があるかと思いますが、語学に長けています佐久間パスト会長、酒井会員、渡辺会員と強い味方がおりますので安心できると思っております。さらに私の拙い英語とタガログ語も徐々にレベルアップを図っていけたらと思います。See you Baguio! Let's go Huston! Thank you. Salamat Po. 皆様ロータリアン同士で寝食を通じて親睦が一層深まります。私自身が先頭に立ってバギオ訪問、国際大会に参加し、一人でも多くの方がご参加できるよう情報提供してまいりたいと思っております。大役を務めあげられるか不安ではございますがどうか先輩方のご指導ご助言をいただきながら進行できればと思いますので、何卒1年間よろしく願いいたします。



青少年奉仕委員長 本多 信雄様

皆様こんにちは。本年度、青少年奉仕委員長に就任させていただきました本多信雄でございます。佐藤年度1年間一生懸命この委員会をしっかり引っ張っていきたいと思っておりますので皆さまご協力お願い申し上げます。私どもの会員が現在80名、その中でこのロータリーに1.2年で入会された方が約半数以上でございます。コロナの影響もあるのですが、青少年奉仕活動・社会奉仕活動においては、この約1年半ほとんどのイベントが中止となってしまいました。イコール皆さんが言葉だけでは今出てきているのですが、色々な事業のわがクラブの独自の事業がありまして、本当はそういったところを今年度体験していただきたいなという思いがございます。先ほど大西委員長からもお話があったんですけども、我がクラブの柱の独自の事業の中で東京臨海ロータリー旗争奪オレンジボール大会というものがありません。先ほどと重複するのですが、私が体験したことを皆様にお話したいと思っております。高橋会長年度から始まりまして去年の佐久間年度は中止になってしま

ったんですけど、過去4回は出席させていただきました。どんなことをやっているかと申しますと、小学校1年生から3年生までの江戸川区にいる少年野球チームがトーナメント方式で勝ち上がってきた最後の準決勝・決勝というところに戦っていくんですけども、小学校1年生から3年生までの野球を見たことが私もなかったです。本当に小学校低学年の子供なので、まずピッチャーがベースまでまともに届くボールを投げられるのが全体をみるとほとんどないと思います。ただ勝ち残ってきたチームの中にはサラブレッド的にまあまあ球が投げられる子、体がちょっと大きい子、こういうのがあると、そのチームが強いイメージがするんです。過去私が拝見した大会の中には、あからさまに村社会員が率いるチームが強くてですね、強いチームには強い子が集まりやすいんです。なぜかという皆さんお子さんいらっしゃる方はもし子供が野球に熱を持っていただくとですね、どうしても強いチームか、環境が良いチームに親御さんとしてははいたいんでしょう、そこに村社会員のチームは強豪チームに名乗りを上げてくるんですけども、そんな中で、私が一番印象を受けたのはやはり小学校低学年の子なので、今までスムーズにいったことがちょっとつまずいたり精神的なつまずきがあると一気に野球の流れががらっとかわるようなことがありました。強豪チームと言われていたチームが前半5点6点8点と回を重ねるごとにリードしていても、一気に逆転されてしまう年もありました。その中で小学校1年生から3年生なのでまずフォアボールで塁に出ると大半は盗塁します。大半はキャッチャーが二塁ベースに球が届かないんです。ほぼ盗塁が成功してしまう。そんな環境の中で嬉しいなと思ったのは、我々のロータリーが寄与して自分の名前をメダルに書いてもらうのですが、3年目以降からはそのメダルをプレゼントしたことによって非常に喜んでくれた。保護者の方も凄い喜んでくれた。子供たちはこのメダルがもらえるもらえないといって泣きわめいて色々盛り上げてくれた。なんかそんなことを年1回なんですけど都合2、3回の争奪のトーナメント試合があつて最後の優勝になると学校の都合とかで、なかなか日にちが確定しないところもあるんですけども、そういったところに半日ぐらいなので、皆様体験していただけますと、小学校1年生から3年生までの青少年の気持ちと私も自分の子供がいたのでその気持ちと自分の気持ちと照らし合わせてそういったことを、自分たちが大人になって接する機会が少ない中で我がクラブが独自にやっているイベントごとなので、ぜひ一度オレンジボールに参加してみてください。続きましてもうひとつはらいおんは一との子ども食堂というのを社会奉仕活動の一環としてやっております。これは我がクラブの鈴木会員の江戸川区の一部の施設を提供うけております。江戸川区の鹿骨に施設がありまして、近郊の学校の小学生から中学生問わず子ども食堂とタイトルがついているので食堂屋さんなのかと、最初はイメージしたんですけど、実はそこに及川さんというPTA会長から自分の職業を捨ててというわけではないですが、リーダーシップをとって

いただいてその方が中心になって我々の協力金や協賛金をもとに運営をなさっていただいています。そこには朝ごはんが食べられない人、登校拒否等で悩みがある人に私たちが最初に提供させていただいて運営を始めたころには、一人二人だったり、今日は誰もこなかったりと、開催当時には思い入れもあったのですが反響は少なかったのですが、これが年数を重ねるごとによって利用されるお子さんの人数が増えてきたこと、なおかつ学習塾とまではいかないですが本や教材のご提供のもと、そこで少し勉強をしたり、そこで新たな友達を作ったりと、そういった公共の施設とまではいかないのですが、私たちの支援している子供たちが育成される一つの場所でございます。これも通常例会のほかに移動例会として、毎年盛り込ませていただいて、3年ぐらい経ったのですが、去年はコロナがあり万が一のことがあってはいけないということで移動例会は中止にさせていただきまして、今年はコロナの状況をみてそこに皆様に体験していただきたい。その理由は、子供のおかれている家庭環境だとか、いろいろな子供の状況を知っていただくこと。私の会社も一人お世話になっている人がいるのですが、たまたま持病で病気になったときに働けなくなったため会社は休業せざるを得ないため、給料が減る、休業している従業員は子供が全部で6人いる大黒柱だったんです。その時に及川さんに相談させてもらいまして、元気よく通っていただけのようになっていたり、協賛してもらった日持ちが長いものやそういったものを家庭にご提供していますよと及川さんから報告をうけたときに、自分が今までそういった発想もなかったところからいおんは一との活動を知ったことがきっかけでつながったように、この啓蒙を広めていくことが地域の活性化になったりとか、私ども江戸川区に住んでいる人たちの有意義で、江戸川区は比較的恵まれているといわれていますが、もっと人口を増やして、もっと子供を増やして、もっと新規の人たちにも住んでもらってというのが、たまたまなんです。私も江戸川区に生まれて育って居住させてもらって、たまたま出会ったロータリー白井会員とか大西会員のもと、そういった施設の提供を広めさせていただいて、非常に見聞が広がったというか、色々な立場で悩みを持っている人達がたまたま私たちの知り合いのつてからそういうことができたということに、私は感謝をしております。ぜひとも新しく入った新入会員のひとたち、この佐藤年度からは、コロナでレバントで集まることもなくまた緊急事態宣言になってしまっただけでZoomになってしまったことで難しくもありませんが、お昼ご飯を食べて職業的につながることだけでなく、そういう社会性のある臨海に特別に存在しているクラブの体験を皆さんしていただきたい年度にしてほしいと思います。皆さんの顔を名前を覚えきれていない人、今日もこのZoomの中で全員が出てきていないことや皆さんの制約もあると思いますが、この一年間で新しい事業の触れ合いを皆さん体験していただいて、この集まっている趣旨を理解していただいて、皆さんの見聞を広めるお手伝いができればいいなと思っていますので、本年度もよろしくお願いいたします。



■ 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長

Zoomの皆様いかがでしたでしょうか。五大奉仕委員長の皆様ありがとうございました。Zoomの向こうの皆様、我々臨海ロータリークラブの活動というものはすべて五大奉仕委員長の運営というものになってきます。五大奉仕委員長をしっかり支えていくことがクラブを盛り上げていくことになります。どうぞ1年間よろしくお願いたします。それでは東京臨海ロータリークラブ第1207回例会を終了いたします。

東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長

五大奉仕委員長ご挨拶ありがとうございます。衛星クラブの方々も初めて参加することがたくさんあると思いますけど、まずは参加していただいてロータリークラブを知っていただくことが一番大切なことだと思いますので、ぜひともご参加のほどよろしくお願いたします。東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ第16回例会を閉会いたします。

齊藤猛江戸川区長と 面談させていただきました



7月2日(金)東京臨海RCより佐藤大輔会長、鈴木孝行会員、東京臨海東RCより今西会長、東京臨海西RCより西野会長、大星副会長、三橋幹事、そして河本豊美江戸川区福祉部障害者福祉課長が出席のもと、齊藤猛江戸川区長より「ニコニコおもてなし事業」についてのお話を聞かせていただきました。

江戸川区区内には医療的ケアを必要とする重度の障害をもった子どもが大勢おられます。施設や医療スタッフの拡充も完全ではなく、保護者の精神的・時間的負担はとて大きく、仕事に就くことはもちろん外食や外出等の休息の時間すら持てない状況です。

そのような保護者へ「笑顔あふれる夢の時間」をプレゼントさせていただきたい。看護スタッフ等と共に葛西臨海公園へお連れし、シーサイドホテルでの素敵なランチや水族園見学、園内散策等しばし看護スタッフに子どもを預け、リラックスした時間を持っていただきたい。区長たつての思いのこもった事業案をお聞かせいただきました。

しかしながら行政では予算の付けにくい内容の事業であり実現が難しい。そこで民間である我々がどのように支援させていただくかを話し合わせていただきました。

わずか30分程度の限られた時間ではありましたが、大変中身の濃い話し合いをすることができました。今後、理事役員会を通じて議論を重ねていきたいと思えます。

第3グループ家庭集会報告

リーダー：高橋映治会員 サブリーダー：田中紘太会員

参加者：三宅裕介会員、見浪大介会員

テーマ：四つのテストを根拠としたロータリーとは…



会員によって公平の受け取り方が違うのではないかと4つのテストをいつも例会で唱和しているが、非常に大切なことを明文化していると感じる。

繰り返し発していることで、身に染みてくる。

他のクラブに行ったことがないので、コロナが明けたらぜひ行ってみたいと思う。

ロータリークラブの発祥はアメリカで、4つのテストは英語表記の方が分かりやすい内容となっているが、日本語に直すと少しニュアンスが変わってしまう。みんなのためになるか どうか?という日本語訳は特に違和感があり、

「Will it be BENEFICIAL to all concerned?」は直訳すると「関係者全員にとって有益でしょうか?」になる。

アメリカでは元々ロータリークラブ内で仕事を斡旋し合っていた歴史があり、そのため、一つのクラブには1業種しか入れなかった経緯がある。

そのように仕事の独占をしてしまうことは良くなく、社会貢献をしていこうという風にシフトしてきた。